

# I 研究の構想

## 1 研究主題

【研究主題】

### 子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実

～道徳科を要とした取組を通して～

## 2 研究主題設定の理由

### (1) 児童生徒の実態から

現在、子どもたちを取り巻く社会の状況、環境が日を追う毎に変化しています。科学技術の発展によって社会は高度情報化され、一人一人が携帯電話、スマートフォンを保有する時代となりつつあります。情報を取得する手段が多様化し、SNS を利用したり、ブラウザを閲覧したりすることで、誰もがいつでもどこでも検索できるようになり、便利になってきました。

その反面、子どもたち同士の関係性が希薄になってきており、友だちとどのようにかかわっていけばよいのかわからないと悩みを抱えていたり、周囲が気になってしまい自分のしたいことを見失っていたりするなど、心にたくさんストレスを抱えて過ごしています。

これらの問題を解決するためには、児童生徒一人一人が多様な価値観の存在を認めつつ、自ら何を感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質や能力（道徳的実践力）を備えることがこれまで以上に大事になってきています。こうした資質や能力の育成に向けて、道徳教育は大きな役割を果たすと考えます。

### (2) 学校現場の声から

上記の問題をうけて、学校現場でも道徳教育が大事であることを理解しています。しかし、「日常どのように実践していくのか」「学校教育全体として一人一人の教員が果たす役割は何か」と問われて、自信をもって答えられる人は少ないと思います。

また、平成26年度中央教育審議会答申において、道徳の教科化が示され、平成27年3月に一部改訂学習指導要領が告示されました。また、改正学習指導要領は、平成27年4月1日から移行措置とし、平成30年度から小学校で、平成31年度から中学校で完全実施となりました。

道徳の教科化が迫っている今、現場の声に少しでも応えるためにも、これらの課題を解決

していくことが重要であると考えます。

### 3 研究内容

- 1 道徳の教科化
- 2 道徳教育の目標、道徳科の目標
- 3 道徳教育の推進（教育課程の編成）
- 4 道徳科の授業づくり
- 5 多様な指導過程
  - （1）質の高い多様な指導方法
  - （2）児童生徒が主体的に道徳性を養うための指導
  - （3）多様な考え方を生かすための言語活動
  - （4）情報モラル・現代的な課題に関する指導
  - （5）家庭や地域社会との連携による指導
- 6 道徳科の評価

### 4 研究計画

児童生徒の道徳的実践力を育てるために



#### 【平成27年度】

##### ◎理論研究の基礎・基本

- ・道徳教育の目標
- ・道徳教育の推進（全体計画・各学年の指導計画・別業）
- ・道徳科の授業づくり

#### 【平成28年度】

##### ◎理論研究に基づく実践研究

- ・理論に基づく道徳科授業実践の検証
- ・学習過程の工夫
- ・多様な指導過程
- ・成果を上げている道徳教育実践の収集
- ・評価の在り方

#### 【平成29年度】

##### ◎理論研究のまとめ

- ・道徳教育全体に関わる要点の整理
- ・内容項目ごとの指導過程
- ・道徳科における評価の仕方
- ・研究のまとめ

## 5 全体計画

### 【児童生徒の実態】

- ・子どもたち同士の関係性が希薄になり、コミュニケーションに課題がある。
- ・心の不安を抱え、いじめ、不登校など

### 【学校現場の声から】

- ・子どもたちの道徳的実践力を伸ばしたい。
- ・道徳の教科化とは何だろうか。また、学習指導要領の改訂でどのように変わったのか。

### 【研究主題】

## 子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実

～道徳科を要とした取組を通して～

### 【研究仮説】

- ◆道徳教育の基本的な考え方や道徳科の指導過程などについて、その意義や役割を理解し、具体的な実践に結び付けていくことにより、子どもの道徳的実践力を向上させ、道徳教育を充実させることができるだろう。

### 【平成27年度】◎理論研究の基礎・基本

- ・道徳教育の目標
- ・道徳教育の推進（全体計画・各学年の指導計画・別業）
- ・道徳科の授業づくり

### 【平成28年度】◎理論研究に基づく実践研究

- ・理論に基づく道徳科授業実践の検証
- ・学習過程の工夫
- ・多様な指導過程
- ・成果を上げている道徳教育実践の収集
- ・評価の在り方

### 【平成29年度】◎理論研究のまとめ

- ・道徳教育全体に関わる要点の整理
- ・内容項目ごとの指導過程
- ・道徳科における評価の仕方
- ・研究のまとめ